



開会の言葉として安城デンビールの石川伸社長が登壇。安城産大麦の栽培に6人が頑張っていることなどを紹介し、「今日は皆さまと新しい日本の農業を考えたり、おいしい食べ物と飲み物で楽しい1日を過ごしていたきたい」と述べた。来場者は出店した醸造所のブースを歩き来しながら、ビールを飲み比べた。

安城デンビールは202

安城産大麦とクラフトビールを発信するイベント「第3回安城ビアフェスタ2025」(主催「安城ビアフェスタ実行委員会」)が25日、安城市御幸本町の中

地元の大麦、クラフトビールPR

安城ビアフェスタ



1年、安城市の農家4人と安城産大麦の栽培に乗り出した。農業を応援する狙いで、安城産大麦を使用したクラフトビール「安城デンスタービール」シリーズを販売。今回のビアフェスタでは、新たに安城産大麦を使用する醸造所6社も出店した。

今後の展開としては、栽培と消費の両面での取り組みを推進していく考えだ。新たに栽培を希望する農家も現れており、他の醸造所にも安城産大麦の使用を呼び掛ける。

安城産大麦を使用したクラフトビールなどを用意した